

# 飯沼

いいたて

11  
2020

令和2年



明日が待ち遠しくなるようなわくわくする楽しいふるさとへ

杉岡誠新村長の初登庁

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「本と親しむ、本でつながる」
- 4 村長就任あいさつ
- 5 退任あいさつ・選挙結果
- 6 報告のページ「飯館村表彰式」
- 7 報告のページ「百歳賀寿」ほか
- 8 いいたて百景「秋のにぎわい」
- 10 学びの広場「陸上交歓会」ほか
- 12 ほけんとふくし「フレイルとは」
- 13 生涯学習「ソフトボール大会」ほか
- 14 お知らせのページ「秋の交流」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 そのころはっ／おすすめ図書
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 23 こころのぽけっと／ひとのうごき
- 24 HOPES（ホープス）

本と親しむ、本でつながる

本との豊かな出会いを、未来へつないでいこう

全国で唯一、村営の書店として平成7年に開店し、多くの村民に親しまれた「ほんの森いいたて」。全村避難に伴う休業が長期化し、再開かなわず閉店することになりました。

また、村は、平成22年度に、「あなたにたたく飯館絵本リレー事業」で、読まれなくなった絵本や児童書を全国から募集。村内の教育施設や公共施設で自由に読んでもらい、交流するラオスの子ども達にも贈る

うと計画しました。そして全国から約6万冊が寄せられた中での全村避難。本の一部は、仮設の園舎や校舎に置かれ、避難中の子ども達に贈られ、中学生が英訳に関わり村がラオスに届けるなど活用されました。

この本の整理や修復に、震災直後から関わってくださったのが「図書ボランティア」の皆さんでした。「ほんの森いいたて」閉店に伴う図書の整理にもご協力をいただいています。

豪雨で被災した熊本県球磨村の学校へ本を贈ろうと準備をする「図書ボランティア」の皆さん。準備作業は旧草野小学校体育館で行われました。ボランティアの皆さんは、震災直後にすべての本を清拭・消毒した他、分類、整理、補修などを行ってきました。



豪雨被災地の子ども達へ本を届けよう

村は、今年7月に豪雨被害を受けた熊本県球磨村に、児童書や辞書約1,600冊を寄贈しました。同村とは「日本で最も美しい村」連合の加盟村としてつながりがあります。「絵本リレー」「ほんの森いいたて」の蔵書に、学校の統合で活用されなくなった図書も加えて、「図書ボランティア」の皆さんが贈る本を選んで箱詰めしました。

10月16日には、寄贈の本の出発式が行われ、関係者などが本の発送を見送りました。出席した「図書ボランティア」の皆さんは「絵本や児童書は心が伝わるもの」「手をかけてきた本がさらに生かされることを願っています」と話していました。リレーのバトンは、10年の歳月をかけながら、人から人へ確かにつながっています。



交流センター「ふれ愛館」前で行われた出発式。



〈上〉平成24年、仮設小学校で「絵本リレー」について学び絵本を楽しむ児童。〈下〉オーストラリアから寄贈を受けた移動図書館車両「こあら号」が、仮設園舎・校舎、仮設住宅などをめぐりました。



交流センター「ふれ愛館」で「ほんの森いいたて」の本の一部を展示中。貸し出しも行っています。



「ほんの森いいたて」は村役場に隣接する「ビレッジハウス美園杜」内にありました。



今月の表紙

10月27日、杉岡誠新村長が初登庁し村民や職員約200人が庁舎前で出迎えました。杉岡村長は「ありがとうございます」「よろしく願います」と人々の列に声をかけ晴れやかな表情で登庁しました。総務課総務係の高橋萌育から花束の贈呈。

## 新村長 就任あいさつ

杉岡 誠 村長



飯舘村長として、初めてのご挨拶を申し上げます。  
まずもって私は、このふるさとの再生と発展のために全力を尽くすことを、皆さまにお誓い申し上げます。

これまで国、県、被災自治体、そしてこの飯舘村は、「復興」を目指して様々なことに取り組んできました。しかしながら、気づけば「復興」が、行政が主体となつて語られる言葉となり、いつしか復興を実感すべき「住民」自身が置き去りにされて来りました。誰のために、何のために取り組むのか、目指すべきものを見失つてはいけません。

私はここに明言します。私たちが目指すべきものは「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」です。

この「わくわくする楽しいふるさと」の実現のために、5つの政策を掲げたいと思います。「1、生きがいと生業の力強い再生と発展」、「2、

健康で生き生きと楽しく暮らせるふるさとづくり」、「3、情報通信技術（ICT）による新しい村づくり」、「4、ふるさと資源のフル活用」、「5、生き生きとした学びの場を育む」です。

一つひとつの政策の主旨は「ふるさとの担い手」です。ふるさとに愛着を持ち、前に向かって力強く進んでいくことを楽しみ、喜びをともにする全ての方のことです。ここに、うちの外の隔てはありません。

村民の方一人ひとり、村に関わるそれぞれの方々が「ふるさとの担い手」です。皆さまお一人お一人が、飯舘村という真っ白なキャンパスにそれぞれの想いを描くことが「わくわくする楽しいふるさと」を育みます。

他に類を見ない、誰もなしたくない「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を、ともに実現しましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 退任のあいさつ



菅野 典雄 前村長

この10月26日をもって、任期満了により飯舘村長の職を退任いたしました。

多くの方のご支援をいただき、24年間にわたり村の舵取りをさせていただいたこと、私にとつて一生の思い出であり財産でもあります。

この間、全村避難を始め、いろいろなことがありました。その都度、私なりの判断・決断をしてきたところですが、村民の期待に十分に応える仕事が出来てきたのであろうかと思う時、忸怩たる思いもするところでございます。

幸いに多くの方々のご指導やご協力、さらに励ましなどをい

ただき、職員共々、村政推進や災害復興等をごこまで進めてこられたことにほっとしている中で、いくばくかのやり遂げ感も味わわせてもらっているところです。

今後は一村民として飯舘村のさらなる発展を願うものがありますので、これまで同様のご交誼のほど、お願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸、そしてさらなるご活躍を、心からお祈り申し上げ、退任のごあいさつとお礼にかえさせていたいただきます。

本当にありがとうございます。

## 門馬伸市副村長 退任のお知らせ

10月26日をもって、門馬伸市副村長が退任しましたので、お知らせします。  
門馬副村長には、12年間にわたり、副村長として、村の発展と復興にご尽力をいただきました。

## 飯舘村議会議員補欠選挙

10月10日告示・同18日投票で行われた飯舘村議会議員補欠選挙の投票結果をお知らせします。

### 投票結果

長谷川 芳博 … 771票  
飯畑 秀夫 …… 666票  
当日有権者数…4,635人  
投票者数……1,564人  
投票率………33.74%



長谷川 芳博 議員  
(伊丹沢)

当選

職業…農業  
住所…伊丹沢字笹ノ沢95番地

# 百歳 賀寿

10月13日、愛澤ハツノさんが「いいたてホーム」で百歳を迎えられました。

賀寿のお祝いは新型コロナウイルス感染症対策を取りながら行いました。



愛澤 ハツノ さん（大久保・外内）  
大正9年10月13日生



ご家族から手作りのプレゼント

愛澤さんは、お祝いのお礼に、「ふるさと」を歌いました。「いいたてホーム」の職員さんは、日頃の様子について、「ベッドで過ごすことが多いのですが、元気いっぱい職員との会話も楽しんでいます。笑顔がとっても愛らしく、場を和ませてくれます」と話していました。愛澤さんのご家族は「手厚い介護にあずかり本当にありがたい」と、「いいたてホーム」への感謝を話していました。

## 日本グッドデザイン賞 ベスト100

### 大師堂住宅団地が選出されました

令和2年度の「グッドデザイン賞」(日本デザイン振興会主催)に全国で1,395件が選出され、中でも優れた作品を集めた「グッドデザイン・ベスト100」に、村の災害公営住宅「大師堂住宅団地」が選ばれました。スタイリッシュな外観と木材の温かみを生かした内装が特徴的な同住宅には、木造の仮設住宅が再利用されています。



# 令和2年度 飯舘村 表彰式

令和2年度の表彰を受けた、特別  
功労表彰1人、功労表彰2人、善行  
表彰2人の方をご紹介します。  
この表彰は、村が、表彰条例に基づ  
き、村の伸展に貢献された方を表彰  
するものです。表彰式は、毎年「村民  
の日」に合わせて行われています。



表彰式は9月30日、歴代の受賞者  
や来賓、関係者が出席し、交流セン  
ター「ふれ愛館」で行われました。



### 功労表彰

越川 幸さん  
(蔵平)

飯舘村消防団員32年



### 功労表彰

長正 サツキさん  
(大久保・外内)

飯舘村民生児童委員18年



### 特別功労表彰

高野 進さん  
(八木沢・芦原)

飯舘村消防団員37年うち  
飯舘村消防団長4年  
八木沢・芦原区長2年



### 善行表彰

故・高橋 利彦さん  
(小宮)

長年にわたりイベント等  
の映像を記録し村へ提供  
小宮行政区長6年  
(令和2年9月13日ご逝去)



### 善行表彰

菅野 敬さん  
(関根・松塚)

南相馬地区防犯指導隊飯  
舘村隊長25年3月  
飯舘村商工会長6年9月

# 飯舘 百景

## いいたて秋のにぎわい

10月25日、交流センター「ふれ愛館」では第37回「飯舘村文化祭」が、「いいたて村の道の駅まてい館」では「いいたて秋まつり」が開催されました。

文化祭は、村内外の団体によるステージ発表や多彩な出店、ワークショップなどをそろえた魅力あふれる催しとなりました。村職員でつくる「にぎわいづくり推進委員会」の「かぼちゃの

ランタンづくりワークショップ」も大盛況。警察車両や消防車、大型トラクターの展示も、関係機関の協力で行われました。力作がそろった「総合文化展」は、混雑緩和のため展示期間を10日間に延長して行いました。また、飯舘村商工会が主催した秋まつりは、出店が囲む屋外広場のステージで、ダンスや音楽ライブ、お笑いのステージ、大抽

選会などが続き、大勢の来場者が楽しみました。開催にあたっては、両会場でさまざまな感染症対策が行われました。検温や手指の消毒、連絡先確認の他、文化祭の会場では、表彰式や発表を行うステージを屋外に設営。秋まつりでは、入場ゲートを設けて入場者の制限などを行いました。

空の下での文化祭は雰囲気も格別。どの演奏も演舞も、いきいきと観客を引きつけていました。また、周囲には村内外の個性豊かな出店が並び、来場者が作り手と対話をしながら、買い物・食事を楽しみました。



Swingin' Easily &オカリナサークルのステージ



いいたて愛のステージ

開放感たっぷりの会場を各団体が盛り上げました



総合文化展と各種ワークショップは館内で



カボチャのランタンづくりには大勢の親子連れ



ペンギンナッツのお笑いステージ

「いいたて秋まつり」には約1,000人が来場

学園 NEWS

地域の防災を学びます  
4年生が村役場で質問

10月6日には4年生が、村役場を訪れました。社会科の授業の環境で、地域の「防災」について学ぶためです。4年生は、防災担当の職員から、防災計画を作成中であることなど取り組みについて聞き、備蓄している非常食なども実際に見せてもらいました。4年生は「避難所はどういう場所につくるのですか」「非常食に飽きてしまわないよう、そんなことまで考えるんですね」など、感想を伝えたり質問をしたり。自ら学びを深める態度が素晴らしかったです。



役場の会議室で防災担当の職員にどんどん質問！

学園 NEWS

ドンニヤイ村の施設建設へ  
児童生徒が収益金を寄付

東京オリンピックパラリンピック2020で村がホストタウンを務めるラオス。児童生徒は「いたて学」の学びを通して、同国南部のサラワン県ドンニヤイ村と交流を深めています。「イイタネちゃんポーチ」の開発・商品化・販売もその一環で、限定300個を売り上げた収益金と募金を合わせた約31万8000円を、同村交流施設の建設資金として寄付しました。村も同じ目的で120万円を寄付します。各方面からいただいていた支援への感謝も込めながら、児童生徒の取り組みは、さらに続きます。



10月12日に行われた贈呈式。交流をつなぐアジア教育友好協会（AEFA）に寄付目録を手渡す児童生徒の代表。「ラオスの力になりたい。ポーチはオリパラの選手にも贈りたい」

学園 NEWS

子ども達と紡いだ物語をモチーフに  
いせ先生のアクリル画を展示

画家で絵本作家のいせひでこ先生が描いたアクリル画2点が、学園の正面玄関に飾られました。震災後、絵本「木のあかちゃんズ」と絵画を贈ってくださったいせ先生。その後も毎年、絵画制作や工作の特別授業を行ってくださいました。今回展示された2点の作品は、学園の児童生徒のために制作されたものです。披露式は10月15日に校内で行われ、いせ先生は「皆さんの思い出と一緒に紡いだ皆さんの物語を思い出しながら描きました」と児童生徒に伝えていました。



アクリル画の除幕を行った披露式の様子。いせ先生の言葉に耳を傾け作品を鑑賞しました

その3

「NIE」=Newspaper in Education

新聞を活用して読解力の向上を目指そう！

4年生以上の学年でNIE（新聞を活用した取り組み）を進めています。朝の時間などに新聞を読み、記事の内容やそれに関する自分の考えを伝え合うなど、新聞を活用して読解力の向上に努めています。



いろいろな記事の面白さを感じたり社会のできごとに関心が高まったりしています

お知らせ  
したい！

学園リポート

いたて希望の里学園

義務教育学校のメリットを生かす  
教育活動をリポートします



学園 NEWS

スポーツ公園でのびのびと躍動  
川俣町との陸上交歓会



6年女子100mのレース。手前から2人目が「いたて希望の里学園」の高倉凜さん

川俣町の各小学校から選手が出場する「川俣町小学校陸上競技大会」が昨年度から「いたてスポーツ公園」で開催されるようになり、飯館村からも5・6年生が参加して、「川俣町・飯館村小学校陸上交歓会」が同時開催されています。9月30日の大会当日は晴天に恵まれ、村から出場した5・6年生が、短距離走、ボール投げなどの種目に全力を尽くしました。また、男子は400mリレーにも出場し、自己ベストを更新する力走。グラウンド脇では下級生や保護者の皆さんが、声援と拍手を送り続けました。

学園 NEWS

ハチ公 お色直し  
6年生が協力しました

交流センター「ふれ愛館」に置かれている忠犬ハチ公のオブジェ。東京都の渋谷公園通商店街振興組合などから、村民の帰村を待つ象徴として平成25年に寄贈されたものです。同振興組合の関係者で村に移住した塚越栄光さん（ま）でい大使／草野）からの提案を受けて、6年生が、このハチ公の塗り直しに協力。「自分達が皆とハチ公の絆になろう」と話しながら作業に取り組みました。きれいに色直ししたハチ公は、交流センターへ戻り、文化祭で大勢の来場者を迎えました。



6年生は昨年渋谷公園通りで花植えの活動にも参加しています。右手前が塚越さん

## 14対14の激戦 市町村対抗ソフトボール大会



第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会に出場した飯舘村チーム。10月17日、相馬光陽ソフトボール場で1回戦に臨み、石川町チームと対戦しました。試合は点の取り合いで最終回までもつれ、14対14の引き分けに。規定により抽選で敗退となりましたが、確かな手応えを残す大健闘でした。

回	1	2	3	4	5	計
飯舘村	3	3	5	2	1	14
石川町	7	4	0	1	2	14

## 長く 元気に過ごすためのフレイル予防

フレイルとは…?



高齢になると筋力、認知機能や社会性も徐々に衰えてきます。そんな高齢者の心身の健康状態を表す言葉として、近年注目を集めているのが「フレイル」です。

「フレイル」とは、健康な状態と要介護状態の中間的な状態のこと。食欲がない、飲み込みにくい、疲れ易い、外に出ることが面倒になった等のようにみられる方は注意が必要です。

### フレイル予防に必要な3つのこと

「フレイル」は、日常生活の中で、予防・改善ができることもあります。早目の対策をしましょう。



### まずは今日の食事から考えてみませんか?

食事は、主食、主菜、副菜のバランスが大切です。いつもの食事と見比べて、頑張り過ぎず、できることから変えていきましょう。

**副菜**

(野菜、きのこ、いも、海藻料理)  
体の調子を整えるために毎食1皿つけましょう。

**主菜**

(魚、肉、卵、大豆料理)  
体をつくるたんぱく質のおかずです。



**主食**

(ご飯、パン、めん類など)  
エネルギーのもとになる、食事の中心です。



コンビニ等のお惣菜商品も上手に活用して、簡単に栄養アップ!



「フレイル」予防や栄養の相談は、飯舘村地域包括支援センター ☎0244-42-1626まで

10/4



ウォーキング交流会



**10月開催の講座では**  
生涯学習課では、年間を通してさまざまな講座を開催しています。10月には、花塚山を登る「ウォーキング交流会」と、4回目となる「オカリナ教室」を開催しました。ウォーキング交流会では、10歳から72歳までの参加者が、初秋の山景色を楽しみながら完歩。「オカリナ教室」のメンバーは、文化祭に向けた練習を重ね、本番のステージではジャズバンドと共演。オカリナの美しい音色を会場いっぱいに響かせました。

## スポーツの秋 芸術の秋 生涯学習講座

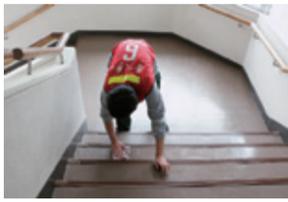
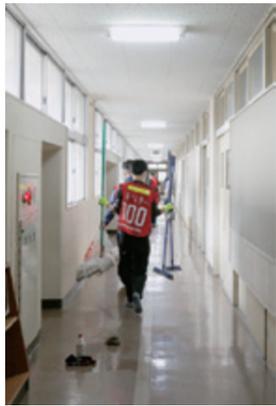
10/8

オカリナ教室



新宿調理師専門学校と友好協力協定

10月23日、新宿調理師専門学校の学生と職員、約50人が村を訪れ、ボランティアで旧草野小学校の清掃を行っていただきました。授業の中で掃除の仕方学んでいるので、そのときばきとした作業ぶりは、立ち会った職員を驚かせていました。同校が来村して支援活動を行うのは5年連続です。村は同校と「友好協力に関する協定」を締結することとなり、同日、ビレッジハウスで締結式を行いました。式では菅野前村長と上神田梅雄校長が協定書に署名しました。



学生の皆さんは「力になりたい」と志願して参加しています。

活動に参加して、ここで生まれた大切な「ご縁」を実感しました。

学生の小松谷彩希さん



飯舘村老人クラブ連合会 パークゴルフ大会

10月24日、「第9回飯舘村老人クラブ連合会パークゴルフ大会兼第6回福島民報社杯パークゴルフ大会」が行われました。会場は9月にオープンした「いいたてパークゴルフ場」です。約100人の参加者が、秋晴れの空の下、笑顔を交わしながらプレーを楽しみました。同パークゴルフ場は、コースの芝の養生中で、来春まで利用が休止されていますが、今大会は雨天延期されていたため特別に開催されました。老人クラブ連合会の皆さんにとっては、待ちに待った念願の村内開催でもありました。

《優勝》  
男子の部 横山正秀さん（前田・八和木）  
女子の部 北山文子さん（飯樋町）



お知らせしたい

#つながりのエピソード

ふくしま再生の会「交流の家（仮称）」



村の食材で料理人が腕をふるい提供されたランチボックス。

佐須地区に「交流の家（仮称）」を建設した「ふくしま再生の会」（田尾陽一理事長/佐須）が、10月4日、お披露目のイベントを開催。地域住民や関係者と共に新たな交流拠点の誕生を祝いました。同施設は、昨年開設した簡易宿泊施設「風と木の家」に隣接していて、運営は共に「合同会社虎捕の郷（佐藤公一代表/佐須）」が行います。また、建物には、仮設住宅で使われていた木材や、解体された旧佐須小学校の建具などを生かしていて、そのデザインやくつろげる雰囲気も素敵です。

こども園の園庭にある作品「家族」の前で

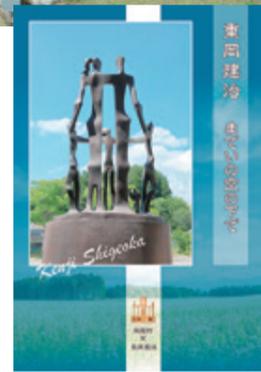


旧草野小学校では彫刻の原型となる石膏像を鑑賞



飯舘村彫刻ツアー

村内の重岡作品を紹介する冊子。村役場で購入できます（500円）。問い合わせは村づくり推進課企画係  
☎0244（42）1613



10月3日、「重岡建治先生と歩く 飯舘村彫刻ツアー」を行いました。村の学校や道の駅、交流センターなどに設置されている重岡先生の作品を、作者である重岡先生の解説を聞きながら鑑賞して巡るという贅沢なツアーです。当日は、約20人が参加して、このツアーを楽しみました。参加者の一人は「重岡先生の作品とお人柄に触れ、すっかりファンになりました」と語っていました。

## 村への寄付をいただきました 亡きご主人の思いと共に



村長室にて寄付の目録を北原さん（左）から受け取る菅野前村長。「大切にに使わせていただきます」

10月14日、北原スミ子さん（草野）から、村に100万円の寄付をいただきました。

この寄付は今年9月に亡くなった夫の藤夫さんの遺志に基づくものだそうです。北原さんが経営する燃料店「北原商店」は、震災直後の混乱期や、長期化した全村避難の間もガソリンスタンドの営業を続け、村の復興にも貢献してきました。藤夫さんは生前、「スクールバスの給油などで、村には長い間お世話になった。感謝を形にして、恩返しをしてほしい」と語っていたそうです。

## 飯館村消防団 秋季検閲式 飯館分署前で実施



検閲官を務める菅野前村長を先頭に団の幹部や来賓が続きました。姿勢を正し検閲を受ける団員の皆さん

10月4日、南相馬消防署飯館分署前で、飯館村消防団の秋季検閲式が行われました。式には、団員及び女性消防隊、役場消防隊の合わせて97人が出席しました。

検閲式では、赤石澤傳団長（飯樋町）が、団員の貢献に感謝を伝え、「自分達の村は自分達で守る」消防団として、防火・防災にいつそう努めていくことを呼びかけました。

団員の皆さんは、検閲官や来賓を前に、機敏な動作で隊列を整え、検閲に臨みました。

## solar SPV合同会社と 協力協定を結びました



協定書に署名し写真撮影に応じるsolarSPV合同会社職務執行者・齋藤稔さん（左）と菅野前村長

10月15日、村は、「solarSPV合同会社」と協力協定を結びました。同社は、エネルギー環境分野に実績を持つ企業グループの出資で設立されました。復興整備計画の承認を受け、関根地区に太陽光発電所を建設します。

計画では、令和3年10月頃からの発電開始を見込んでいます。運用期間は20年間で、協定に基づき、売電収入の一部を村に寄付する他、企業のネットワークを活用して、村の農産物のPRにも協力します。

## サポートセンターつなごっぺで 「食を考える会」の栄養教室



初回の様子。左は低栄養の予防に活用されるランチオンマット

サポートセンター「つなごっぺ」で、栄養教室が開かれました。講師を務めたのは、「飯館村食を考える会」の皆さんです。

初回となった10月7日は、田村紀恵子さん（二枚橋・須萱）と、古川恵美子さん（小宮）が講師を務めました。今回の栄養教室では、つなごっぺ利用者の皆さんに、普段の食事大切にしたいポイントを伝えました。利用者の皆さんは、講師の質問をきっかけに、普段の食事の様子、自分の定番メニュー、工夫していることなどを伝え合い、対話も楽しんでいました。

## 飯館村防犯指導隊が 地域防災キャンペーンを実施



「詐欺被害が増加しています。気をつけてください」と声をかけながら一人ひとりに手渡しました

10月16日、飯館村防犯指導隊（渡邊富士男隊長／飯樋町）が、南相馬警察署・南相馬地区防犯協会連合会と協力して、地域防災キャンペーンを実施しました。隊員の皆さんは、「いいいて村の道の駅までい館」で、利用者に防犯チラシや啓発グッズを配布。詐欺被害などにいつそう注意するよう呼びかけました。防犯チラシは、新型コロナウイルスに便乗した詐欺や悪質商法、還付金詐欺、架空請求詐欺など、言葉巧みに不安をあおる詐欺の手口を分かりやすく伝えています。

## 海野先生 長年のお力添えを ありがとうございました



村の教育発展への功績をたたえる感謝状と、花束が贈られました。海野先生（左）と菅野前村長

飯館村教育アドバイザー・飯館村教育委員会学校教育指導員などを歴任し、15年以上にわたり村の教育行政にご提言をいただいていた海野和夫先生に対し、村は10月9日、感謝状を贈りました。

贈呈式は、総合教育会議の中で行われました。海野先生は、「意味のある仕事をさせていただき、私の方こそ感謝をしています」とあいさつし、「これからも、保護者にも子どもにも満足のいく素晴らしい教育を進めてください」と関係者一同を励まされました。

その  
ところはっ  
教えてください  
そのワケを  
#17

深谷のコスモス畑

役場職員の有志が集う園芸部。「農業を推進したいなら、その大変さを体験することが大事だよ」という先輩のアドバイスをきっかけに平成30年に結成し、これまでチューリップ、ニシキク、コスモスなどの栽培に挑戦してきました。他にも、役場周辺の花壇の手入れや、ハロウィーンイベント用のカボチャの収穫などに協力しています。

現在の部員は9人で、「参加できる時に参加する」スタイル。松本義之部長(村づくり推進課企画係)は「楽しく続けられることを大切に」しているそうです。しかしながら、チューリップの球根をサルに食べられてしまったり、コスモスが思うように成長しなかつたりと苦戦も強いられて、「単純に見えて、つひとつの作業が本当に大変なことが分かりますね」と生きた学びを得ています。部員の一人は「結果が出ないことや失敗も、体で感じられる」と笑顔を見せました。

農地やハウスを間借りするなど、村民の皆さんの温かなバックアップもあるとか。園芸部のチャレンジは、これからも続きます。来年は何をつくるのかな？

飯舘村役場 園芸部



春に土の入れ替え作業を行った役場玄関前の花壇にて

## 話題のパレット

身近な話題を  
お寄せください  
☎0244-42-1613

### 村婦人会が奉仕作業



10月3日、飯舘村婦人会(長谷川花子会長/前田)が、村のセンター地区などで、美化活動を行いました。

当日は23人が参加しました。一方は白石地区から伊丹沢地区へ、もう一方は草野地区から飯樋地区へと、二手に分かれてゴミ拾い。空き缶などたくさんのゴミを集めていただきました。



ゴミ袋とゴミはさみを手に一つひとつ拾っていきましました。「意外にゴミがたくさん落ちていてびっくりですね」

### 「役立てて」とマスク寄贈

真心が伝わる  
手紙が添えられていました



どの地域でもまだまだ必要なマスク。思いやりいっぱいのエールをいただきました。

10月12日、村役場に約700枚のマスクが届きました。「飯舘村出身者です。少しですが役立てられたら嬉しく思います」と手紙が添えられて。このマスクの贈り主は高橋美佐子さん。関沢出身で、現在は静岡県在住です。コロナウイルス感染症への警戒が続く中、ふるさとに思いを寄せて送っていただきました。

### 愉快なしあわせカフェ永井川



10月13日、交流サークル「愉快なしあわせカフェ永井川」(佐藤俊雄代表世話人/草野)がバスツアーを開催。お知らせ版を通して参加者を募り、約20人で、田村市の「あぶくま鍾乳洞」や埜町のダリア園などを訪れました。

コロナ感染予防の対策を行いながら、交流のひとつを大切に味わいました



交流センター「ふれ愛館」だより  
おすすめ図書を紹介します

### スポーツ公園の図書も どうぞご利用ください



Dr.クロワッサン 新装版  
リンパストレッチで不調を治す!  
マガジンハウス 発行

ストレッチをすることによりリンパ管が広がって、滞っていたリンパ液がドットと流れる。ストレッチでリンパ液を流すと筋肉を使って代謝も上がるので、脂肪が燃えやすくなるそうです。

「ドクター・クロワッサン リンパストレッチで不調を治す!」は、「いたてスポーツ公園」管理棟の《本コーナー》に置いてあります。スポーツ公園を利用される方は、ぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか?生涯学習課では、スポーツ公園管理棟にも、定期的に書籍を購入し、いきなると考えております。リクエストがありましたら、交流センター「ふれ愛館」もしくはスポーツ公園管理棟までお願いします。

問 交流センター「ふれ愛館」  
☎ 0244-42-0072

問 いたてスポーツ公園管理棟  
☎ 0244-42-0152

# 入札結果をお知らせします

入札日／7月17日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯館村復興震災記録交流施設太陽光発電設備工事	41,800,000円	(有)長谷川電気工事	令和3年3月下旬
飯館村復興震災記録交流施設建築工事監理業務	8,580,000円	(株)清水公夫研究所	令和3年3月上旬
飯館村村づくり調査業務	5,885,000円	(株)福島県中央計算センター	令和3年2月下旬
河川除草事業(佐須地内)	7,370,000円	(有)渡建工業	令和3年2月下旬
河川除草事業(伊丹沢地内)	9,900,000円	濱田建設工業(株)	令和3年2月下旬
河川除草事業(小宮地内)	4,400,000円	(有)福相建設	令和3年2月下旬
公用車(水道車)購入	2,158,803円	飯館自動車工業	令和2年11月下旬
深谷地区屋内運動施設小型遊具購入	2,268,697円	(株)童具館	令和2年7月下旬

入札日／8月24日(単位：円)

選挙システム(村長選挙及び村議会議員補欠選挙)運用支援業務	1,133,000円	(株)福島県中央計算センター	令和3年3月下旬
内部情報系システム機器更新業務	8,294,000円	(株)福島県中央計算センター	令和2年12月下旬
地上デジタル放送再送信事業工事(第二期)	1,496,000円	(株)T T K	令和2年11月下旬
ふかやドッグラン整備工事設計業務	1,705,000円	(株)邑建築事務所	令和2年9月下旬
「いいたて秋まつり」イベント業務	3,993,000円	飯館村商工会	令和3年1月下旬
ふくしま森林再生事業同意取得等業務	2,200,000円	飯館村森林組合	令和3年2月下旬
ふくしま森林再生事業年度別事業実施計画作成業務	19,030,000円	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	令和3年2月下旬
役場庁舎トイレ改修工事	2,860,000円	(有)長谷川電気工事	令和3年3月下旬
役場庁舎網戸・ブラインド修繕工事	7,920,000円	庄司建設工業(株)	令和3年3月下旬
旧草野幼稚園修繕工事	1,650,000円	関場建設(株)	令和2年10月下旬
飯館村復興震災記録交流施設土木工事	138,600,000円	関場建設(株)	令和3年3月下旬



## 「クロス発電」とは

大火山の村有地に建設された「いいたてまていな再エネ発電所」(10メガワット)で、太陽光発電と風力発電を組み合わせた「クロス発電」が9月から稼働しています。2基の風車は最大6.4メガワットの発電を行い、夜間や日照時間が短い冬季などに減少する太陽光発電の発電量を補います。また、合計の発電量が定格出力を超えそうな場合には、風力発電を抑制します。送電線の空き容量を無駄なく活用する新技術です。



## お知らせ

### 「クロス発電」事業開始 大火山で竣工式

**村**も出資する「いいたてまていな再エネ発電所」で、10月8日、風力発電施設竣工式が行われました。太陽光発電と風力発電を組み合わせた「クロス発電」の本格稼働は、全国で初めてです。この発電所の収益の一部は、村の復興のために活用されています。

## 10月の村の動きと主なできごと

- 31日 行政区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 28日 飯館村消防団 秋季検閲式(飯館分署前)
- 27日 ウォーキング交流会(花塚山)
- 26日 飯館地区復興推進委員会(上飯樋集会所)
- 25日 第22回飯館村新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 24日 長泥環境再生事業運営協議会(長泥環境再生事業プレシールド)
- 23日 平沢勝栄復興大臣 来村(村役場)
- 22日 生涯学習講座「オカリナ教室」(交流センター「ふれ愛館」)
- 21日 帰還困難区域を抱える6町村の協議会担当者会議(双葉町)
- 20日 総合教育会議(村役場)
- 19日 飯館町久保地区農地中間管理事業説明会(飯樋町集会所)
- 18日 復興整備協議会(福島県庁)
- 17日 飯館町新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 16日 ラオス・ドンニヤ村への寄付金 贈呈式(いいたて希望の里学園)
- 15日 いせひでこ先生 アクリル画披露式(いいたて希望の里学園)
- 14日 2歳6か月児歯科健康診査(いちばん館)
- 13日 第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会1回戦(相馬光陽ソフトボール場)
- 12日 村議会議員補欠選挙 投票(村役場/福島市・旧すくすく)
- 11日 第4回特定復興再生拠点区域整備推進会議(いちばん館)
- 10日 第9回農業委員会定例会(村役場)
- 9日 障がい者相談会(職覚)(サポーターセンター「つながっぺ」)
- 8日 4か月児・10か月児健康診査(いちばん館)
- 7日 佐須地区復興事業説明会(佐須公民館)
- 6日 第37回いいたて村文化祭(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日 にぎわいづくりイベント「かぼちゃランタンづくり」(交流センター「ふれ愛館」)
- 4日 前田行政区農地中間管理事業説明会(前田公民館)
- 3日 いいたて秋祭り(いいたて道の駅まてい館)
- 2日 第23回飯館村新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 1日 菅野典雄村長・門馬伸市副村長 退任式(村役場)
- 0日 杉岡誠村長初登壇 村長訓示(村役場・いちばん館)
- 0日 子育て委員会(村役場)
- 0日 定例教育委員会(赤崎祭「いいたて希望の里学園」)

お詫びと訂正

【訂正】特別職の報酬などの状況（令和2年4月1日時点）

「広報いいたて」10月号15ページに掲載した「村役場職員の給与公表」の中で「特別職の報酬などの状況」の表に一部誤りがありました。お詫びして正誤の表を掲載します。

〈正〉

給料 (月額)	村長	64万4千円 (80万5千円)
	副村長	58万5千円 (65万円)
	教育長	55万8千円 (62万円)
報酬 (月額)	議長	30万円
	副議長	25万1千円
	議員	23万5千円
期末 手当	村長	(令和2年度支給割合) 6月期 1.675月分 12月期 1.675月分 計 3.35月分
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	
	議員	

※給料の( )内は、減額措置を行う前の金額です。

〈誤〉

給料 (月額)	村長	64万4千円 (80万5千円)
	副村長	58万5千円 (58万5千円)
	教育長	55万8千円 (55万8千円)
報酬 (月額)	議長	30万円
	副議長	25万1千円
	議員	23万5千円
期末 手当	村長	(令和2年度支給割合) 6月期 1.70月分 12月期 1.70月分 計 3.40月分
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	
	議員	

※給料の( )内は、減額措置を行う前の金額です。

お知らせ 議会中継と配信について

- 飯館村議会では、議会中継を下記のURLでライブ配信しています。  
http://gikailive.vill.iitate.fukushima.jp  
※インターネット等の通信費は個人負担となります。※この配信は開会中のみ接続できます。
- 過去に開催された本会議及び各委員会の映像の配信も始まりました。令和2年9月定例会以降の映像となります。視聴方法については、村ホームページのトップ画面から、「飯館村議会」のバナーをクリック。10月20日の新着情報「議会中継配信について」で、注意事項などをご確認ください。同画面のリンクから、動画配信サイトYouTubeで視聴することができます。

寄付

ご寄付をいただきました。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。  
菅野典雄前村長より、木製美術品 3点  
門馬伸市前副村長より、50万円（いいたてっ子未来基金へ）

ひとのうごき

(令和2年9月30日現在)		9月1日～30日までの	
人口	今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆	
男	2647人 (-5)	転入	8人
女	2654人 (-4)	転出	13人
計	5301人 (-9)	出生	1人
世帯数	1840戸 (±0)	死亡	4人
		(住民基本台帳人口)	

(9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



おくやみ

氏名	年齢	行政区
北原 藤夫	88	草野
高橋 衣子	88	伊丹沢
嘉藤 徳二	73	白石
佐藤 芳孝	89	草野
佐藤 ハツヨ	90	関根・松塚
西川 豊治	92	宮内
大東 マルヨ	87	深谷
今野 勇	97	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます

地域おこし協力隊  
いいたてDIARY  
ダイアリー

先月10日に10名の皆さんと一緒に秋のポタニカルキャンドルのワークショップを開催しました。村民の方を対象に開いた初開催のワークショップ。始まるまでは、ワクワクとドキドキが止まりませんでした。普段よりも、ちょっとだけ別世界に浸れるような、そんな機会をこれからも沢山作っていきたくです。

村に来て早くも半年が過ぎ、飯館村で初めての秋を迎えています。道端にコロコロと転がる栗や松ぼっくり。畑の草がほんのり紅く染まっているかと思えば、遠くの山に目をやると所々黄色やオレンジの色がちらほらと…大好きな秋の気配が、この村に近づいて来ていて心がほっと温かくなります。最近ずっと欲しかったお鍋を買ったので、温かいスープやパンを作って寒さに負けず頑張っていこうと思います！



今月のライター

飯館村地域おこし協力隊  
大槻 美友 さん

小宮の大久保金一さんの庭に咲く「コルチカム」。まさに山奥の桃源郷のような、幻想的な風景でした。アトリエも改装中です、来年春をお楽しみに！



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.3

ラオスの結婚式

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



サバイブデー(こんにちは)。今回はラオスの結婚式についてご紹介します。都会での結婚式はホテルで行うことができますが、地方の場合は新婦の家で開催するのが一般的です。私は、誰の結婚式か知らされないまま同僚に連れられることがほとんどでした。新婦の家に到着後、入り口で招待状の封筒に入れた千円〜3千円ほどのご祝儀を渡します。華やかに装飾された会場に通されたのち、用意されたご飯を食べながら新郎の登場を待ちます。家の前では花嫁側の友人がスタンバイし、鎖を使って新郎の一行を家に入らせないようにします。新郎はその鎖をかくぐり、祝福されながら家に入ってもらおうのですが、これも儀式のひとつ。その後、家の中に入った新郎は、新婦とともに「パーシー」を行います。パーシーは、歓迎やお別れの際によく行われるラオスの伝統儀式で、結婚式では新郎新婦が幸せになれるよう願いを込めて、参加者がふたりの手首に白いひもを巻きまします。儀式の後は、歓談しながらご飯やお酒とともにダンスを楽しみます。ラッシュ時にはこのような結婚式を1日に3〜5件はしごすることもあり、たくさんの幸せを分けてもらうことができます。



次回は  
ラオスの豊かな自然  
を紹介します！

音楽を楽しむ人のたまり場に



熊本県の出身。被災地に関心を寄せて平成24年から除染の仕事で県内へ。福島市や南相馬市、村内などで作業に従事。令和元年に村へ移住し中古住宅を購入。念願の音楽スタジオが完成。

佐藤 祐喜さん（上飯樋）

HOPES

ホープス セカンド

2nd

10代の頃にバンド活動をしてきた佐藤さん。「いつかまた」と想い続けて数年前に音楽活動を再開。村に移住後、住宅の和室をリフォームしてスタジオを作ってしまった。ドラムをたたく場所がほしくて。貸しスタジオではなく、道楽スタジオです」と笑います。

かつては東京都などで仕事をしていた佐藤さんが、福



自宅をリフォームした音楽スタジオ「KUMA Sound House」。11月8日にはイベントを開催予定。「どなたでも気軽にどうぞ」。問い合わせは ☎090-1513-1917（佐藤さん）へ。

佐藤さんのニックネームは「クマさん」。スタジオ名の由来です

鳥県を訪れたのは震災後。「被災地を外から見ているのではなく、その中で生活したい。何かできることがあるかも知れない」と考えたそうです。県内各地で除染作業員として働き、そのまま村へ移住。趣味の音楽は、移住した佐藤さんと地元の人を自然につないでくれました。「住むからには楽しく住みたい。いろいろな人が来てくれる場所にした」。スタジオは音楽愛好家はもちろん、楽器に挑戦したい初心者も歓迎します。

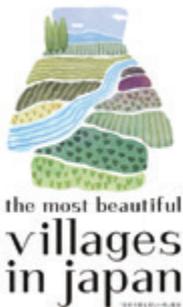
11月8日にはイベントを開催予定。ジャズやロックのセッションを、聴くもよし演奏するもよし。ジャンルを問わず飛び入り参加もOK。

時 11月8日 終日  
所 KUMA Sound House  
飯樋字大火1-15番地3  
無料・持ち寄り歓迎

〈編集後記〉

● 秋晴れの朝、学校に向かう女の子の姿。スキップをしながら、楽しそうに登校していました。その子は学校で何か楽しいことがきつとあるのだと思います。私もスキップしたくなるような生活を過ごしていきたいものです。…そもそもスキップできないかも。（木幡）

● 「住む人の心が村の顔です」と24年間の変わらぬ思いを語って退任された菅野前村長。「小さくともきらりと光る村に」と思いを託し庁舎を去られた門馬前副村長。そして「明日が待ち遠しくなるようなわくわくする楽しいふるさとをつくらう」と呼びかけた杉岡村長。ふるさとへの思いが伝わり感謝と期待に胸を熱くした秋の日をこれからも忘れません。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。